



宗岡二小だより

学 校 教 育 目 標

○よく考える子 ○やさしい子 ○たくましい子

志木市立宗岡第二小学校

令和4年度 No 11通算112号

令和5年3月1日

志木市上宗岡3丁目13番1号

TEL 048 - 473 - 2305

児童数3月1日現在390名



3月 は 別 れ の 月 で す

可 知 良 之

スーパーなどのお店で閉店間際に流れる曲といえば、誰もが「蛍の光」を思い浮かべることでしょう。私もそうです。ところが先日テレビを見ていましたら、あの曲は蛍の光ではないというのです。え！と思っ
て番組を見続けていましたところ、実は「別れのワルツ」という別の曲だということが分かりました。しかし、曲の感じは全く同じです。蛍の光は4拍子、別れのワルツは3拍子ですので、聞き比べてみると違いはよく分かりました。どちらも同じ原曲のアレンジですので間違えるのは当然ですが、なぜか、この曲を聴くと家に帰りたくなるので不思議です。

スーパーだけでなく本校でも今年から5時になると「別れのワルツ」が校内にかかります。今年、埼玉県教育委員会の指導により教員も定時退勤が求められるようになりました。そこで、働き方改革の一環として年度途中からこの曲を校内に響かせたところ
です。3拍子のリズムは日本人にとっては違和感のあるリズム、しかもこの曲は四七抜き音階（ドレミの四番目「ファ」と七番目「シ」が使われない楽曲のこと）で日本人にとって最も耳に心地よく感じる音階だとい
います。違和感のあるリズムでありながら心地よいメロディーが別れをイメージするそうです。

別れの歌として、歌うことを想定するならば、3拍子の「別れのワルツ」より4拍子の「蛍の光」の方がふさわしいでしょう。3拍子ではやはり歌いにくいですから。そして、蛍の光は昔から卒業式に歌う歌の定番でした。私も小中高と卒業式では蛍の光を歌った記憶があります。時代の移り変わりにより定番歌も変わっていきます。校内暴力で学校が荒れていた昭和50年代、ドラマ「3年B組 金八先生」の中でヒットした「贈る言葉」。保護者の皆さんはこれらの歌を歌った方も多いのではないかと思います。

ここ10年近くの卒業式定番曲は、「旅立ちの日に」です。私たちの地元、埼玉県で生まれ全国に広まった名曲中の名曲です。メロディーの美しさもさることながら、当時の校長先生が作られた歌詞が素晴らしい曲です。今 別れの時 飛び立とう 未来信じて 弾む 若い 力信じて この広い この広い 大空に 歌詞の力強さに心が引かれます。コロナ禍での3年間、卒業式で歌われることのなかった卒業式ソングでしたが、今年の卒業式では一人一人が6年間の思いを込めて歌うことができるようになりました。6年生保護者の皆様には、どうぞ、子どもたちが歌う「旅立ちの日に」を聴いてあげてください。